

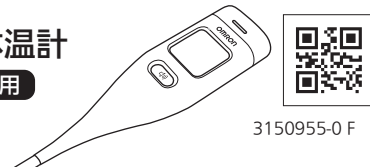
取扱説明書

品質保証書付き

オムロン 音声付電子体温計 MC-H700

わき専用

けんおんくん



3150955-0 F

このたびは、オムロン製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。

- 安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 本書はいつもお手元においてご使用ください。
- 本書は品質保証書を兼ねています。紛失しないように保管してください。
- 本書に記載しているイラストはイメージ図です。

ユーザーガイド (WEB版) について

パソコンやスマートフォンなどで使用方を確認できる「ユーザーガイド」を用意しています。お持ちの機器の読み上げ機能を使うことで、音声で本製品の使い方を聞くことができます。

以下のウェブサイトへアクセスしてご利用ください。



https://www.healthcare.omron.co.jp/product/mc/mc-700/voicemanual.html

収納ケース裏面の二次元コードを読み込んで同じウェブサイトへアクセスできます。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で、お買い上げ後1年以内に故障した場合には無償にて修理、また故障内容や製品によっては、交換あるいは他機種との交換をいたします。
 - 無償保証期間内に故障して修理を受ける場合は、オムロンお客様サービスセンターまたはご購入の販売店にご連絡ください。
 - 無償保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、水没などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
 - 品質保証書の提示がない場合。
 - 品質保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、または販売店で発行されたお買い上げを証明するものがない場合、あるいは文字を書き換えられた場合。
 - 消耗部品。
 - 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
 - その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障および損傷。
4. 品質保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
5. 品質保証書は本規定に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 修理対応期間は製造打ち切り後6年となります。

品質保証書

このたびは、オムロン製品をお買い求めいただきありがとうございました。製品は厳重な検査をおこない高品質を確保しております。しかし通常のご使用において万一、不具合が発生しましたときは、保証規定によりお買い上げ後、1年間は無償にて修理、また故障内容や製品によっては、交換あるいは他機種との交換をいたします。

※製品の保証は、日本国内での使用の場合に限ります。 This warranty is valid only in Japan.

販売商品コード MC-H700

- ※ 以下のいずれかを必ず行ってください。
- 販売店で以下に記入、捺印していただく。
- 販売店で発行されたお買い上げを証明するもの（レシートやシールでも可）を本品質保証書に貼付または保管いただく。

お買い上げ店名



お買い上げ年月日 年 月 日

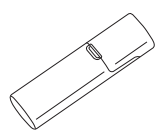
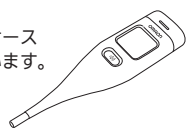
製造販売元 **オムロンヘルスケア株式会社**
〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪53番地



入っていますか？

☑ 次のものがすべてそろっていることを確認してください。

- 本体（体温計）
梱包時は収納ケースの中に入っています。
- 収納ケース



- リチウム電池 CR2032 × 1 個（内蔵、お試用）
お買い求め時に内蔵されている電池はお試用です。電池寿命の回数以内に切れることがあります。

取扱説明書（本書：医療機器添付文書・品質保証書付き）

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。ここに示した内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示します。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

* 物的損害とは、家屋や家財および家畜やペットに関わる拡大損害を示します。

警告

- 乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- 子供だけで使用させないでください。
- 電池や電池カバーは乳幼児の手の届くところに置かないでください。乳幼児が飲み込む恐れがあります。電池を飲み込むと短時間で食道に穴が開くなど重症化することがあります。飲み込んだときは無理に吐かせようとせずに、すぐ医師の診察を受けてください。（誤飲による窒息や傷害に至ることがあります。）
- 電池の液が目に入ったら放置せず、すぐに多量の水で洗い流し、医師の指導を受けてください。（けがの原因になります。）

注意

- 検温結果の自己診断や治療をしないでください。医師の指導に従ってください。（症状が悪化する原因になります。）
- 検温中は、本製品の近く（30 cm 以内）で携帯電話やスマートフォンを使用しないでください。
- 人の検温以外に使用しないでください。
- 本製品はわき専用の体温計なので、わき以外（耳や口中、直腸など）で検温しないでください。
- 本体が水などで濡れた状態で検温しないでください。
- 指定外の環境条件で保管したり、使用しないでください。（≒「仕様」）（正しい検温ができません。）

- 本体は防水ではないため、水につけないでください。
- 強い静電気や電磁波のある場所で使用しないでください。
- 他の医用電気機器と併用しないでください。
- 分解、修理、改造しないでください。（正しい検温ができなくなったり、故障したりする原因になります。）

- 本体や収納ケースに強いショックを与えたり、落としたり、踏んだり、噛んだり、振動を与えたりしないでください。
- 体温計のフラット感温部を強く引っ張ったり、曲げたりしないでください。（本体の故障や破損、傷害を負う原因になります。）

- 本体、収納ケースに磁気カードや磁気記録メディア、精密機器など磁気の影響を受けるものを近づけないでください。（内蔵されている磁石の影響で磁気記録された内容が損なわれたり、故障したりする原因になります。）

- 指定外の電池を使用しないでください。
- 電池を使い切ったときや長期間（3カ月以上）使用しないときは、電池を本体内に入れたままにしないでください。
- 使用推奨期限の過ぎた電池を使用しないでください。（本体が故障する原因になります。）

- 電池を加熱したり、火の中に投げ込まないでください。（破裂などにより、けがの原因になります。）

- 本体をお手入れする場合は、指定の方法でお手入れしてください。（≒「保管とお手入れ」）（故障の原因になります。）

各部のなまえ

■ 本体（体温計）



〔音声〕ボタン：再度、音声案内を聞くときに押します。（音声案内がよく聞き取れなかったときなど）
実測検温完了までの残り時間を確認するときに押します。

■ 表示部

マーク名	説明
① 測定マーク	<ul style="list-style-type: none"> ☾ 予測検温中、あるいは表示している温度が予測値の場合に表示されます。 ☽ 実測検温中、あるいは表示している温度が実測値の場合に表示されます。
② 電池残量マーク	<p>電池残量が少なくなると が点滅します。「もうすぐ電池がなくなります 電池を交換してください」という音声案内が流れます。</p> <p>電池交換が必要になると が点灯します。「電池を交換してください」という音声案内が流れます。5秒間点灯後、電源が切れます。</p>
③ 前回値マーク	表示されている値が前回検温した値であることを示します。

操作の説明で、 はマークが点滅している状態を示しています。

予測検温のしくみについて

■ 体温とは

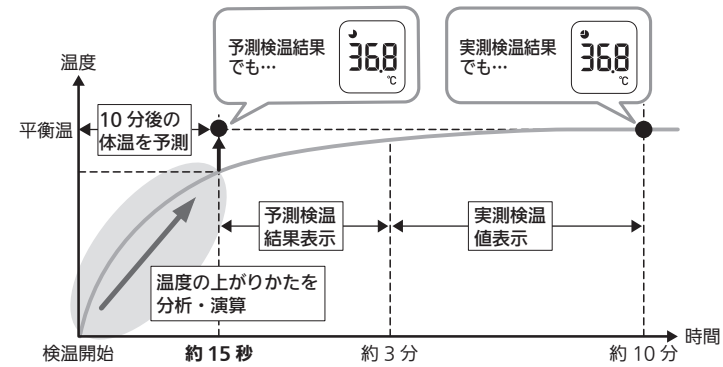
脳や内臓など、温度変化の少ない体の内部の温度のことをいいます。

■ 通常、わきの下で正しく検温するには約10分必要

わきの下は温かいように思えますが、ある程度外気に触れているため、体の内部と同じくらいの温度になるまでには、しっかり閉じて約10分かかります。※このように体の内部と同じくらいに温まったときの温度を「平衡温（へいこうおん）」といいます。

■ 10分後の体温を約15秒で予測する

本製品は検温開始から温度の上がりかたを分析・演算することで、約15秒で約10分後の体温を予測することができます。



※ 予測検温だけでなく、実測検温もできます。医師の指示などで、より厳密な体温測定が必要な場合は実測検温してください。（≒「検温する（実測検温）」）

※ 予測式体温計では、正しい検温方法で検温を行わなかった場合や、血行の状態、体格などによっては、予測精度が保証されない可能性があります。

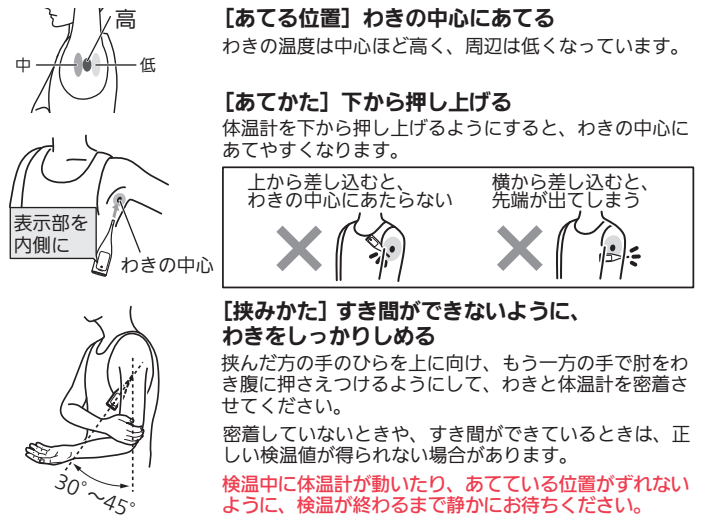
正しく検温するために

検温前の準備

- より厳密な検温が必要な場合は、**実測検温を行ってください。特に医師の指示により検温する場合は、実測検温をお勧めします。**
- 運動や入浴、飲食後は、30分以上あけてから検温してください。
- 起床後は、動く前に検温するか、動いたときは30分以上安静にしてから検温してください。
- わきの下が汗ばんでいるときは、わきの汗をきれいに拭き取ってから検温してください。
- 長時間布団の中にいた場合など熱がこもっているときは、こもった熱を冷ましてから検温してください。

検温時のポイント

体温計を正しくあてて検温しないと、精度の高い検温値が得られない場合があります。



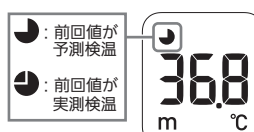
● 医師の指示などでより厳密な検温が必要な場合は、実測検温を行ってください。

検温する

1 収納ケースから本体を取り出す

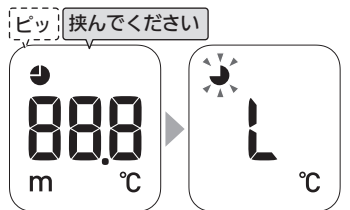
- 本製品は、体温計を収納ケースから出し入れすることで電源を入/切できます。
- 電源が入ると、表示部が全点灯し、ブザーが鳴り、音声案内が流れます。測定マーク（予測検温）が点滅すると、検温準備完了です。

- 前回の記録があるときは、全点灯後、下図のように前回の検温値（前回値）が2秒間表示されます。



- 検温準備完了時に〔音声〕ボタンを押すと、音声案内が流れます。

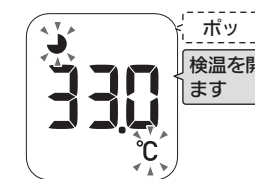
前回検温していないとき：「挟んでください」
前回検温しているとき：「前は〇〇度〇〇分です 挟んでください」



2 体温計をわきの中心に下からあててしっかりと挟む

（≒「正しく検温するために 検温時のポイント」）

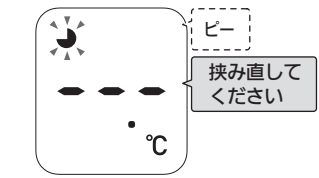
- ブザーが鳴り、音声案内が流れると、予測検温が始まります。



- 音声案内で「検温を開始します」と流れないときは、外気温が高い可能性があります。フラット感温部をよく絞った濡れタオルなどで冷やしてから検温してください。

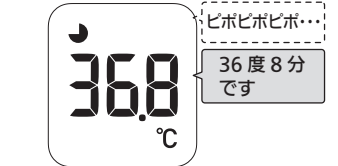
3 体温計を挟んだまま、ブザーと音声案内で通知されるまで静かに待つ（約15秒）

- 体温計の挟みかたや検温時の条件などにより時間がかかることがあります。
- 検温中、わきから体温計が離れたりずれたりすると、ブザーが鳴り、音声案内が流れます。体温計を正しい位置に挟み直してください。



4 予測検温の結果を確認する

- 予測検温が完了すると、ブザーが鳴り、音声案内が流れます。

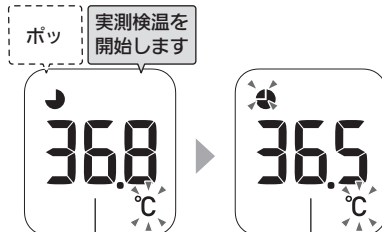


5 収納ケースに体温計を入れる

- 体温計の向きに注意して収納ケースに入れてください。
- 体温計の電源が切れます。収納ケースに入れなくても約3分後に電源が自動で切れます。

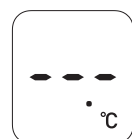
1 「検温する（予測検温）」の手順1～3に従って検温し、予測検温完了の音声案内が流れてもそのまま挟み続ける（約10分間）

- 予測検温が完了してから約30秒後、ブザーが鳴り、音声案内が流れると、実測検温が始まります。予測検温開始から、3分以降に温度変化が少なくなると実測検温の表示に切り替わります。切り替わった直後に表示される体温は、予測検温の結果より少し下がります。



※ 実測した最高検温値を表示

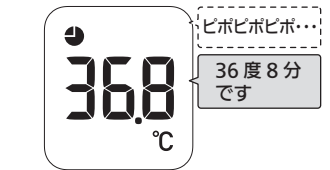
- 途中でわきから離すと正しい検温はできません。
- 検温中、わきから体温計が離れたりずれたりすると、「ピー」とブザーが鳴り、「挟み直してください」という音声案内が流れます。体温計を正しい位置に挟み直してください。音声案内が流れたあと、約30秒間そのままにしておくと、下図のように表示されます。一度電源を切り、検温し直してください。



- 実測検温中に〔音声〕ボタンを押すと、検温完了までの残り時間が音声で流れます。

2 実測検温の結果を確認する

- 実測検温が完了すると、ブザーが鳴り、音声案内が流れます。



3 収納ケースに体温計を入れる

- 体温計の向きに注意して収納ケースに入れてください。
- 体温計の電源が切れます。収納ケースに入れなくても約3分後に電源が自動で切れます。

- ☑ 予測検温中に〔音声〕ボタンを押しても音声案内は流れません。
- 体温計を収納ケースに入れるときは、体温計の向きに注意してください。表示部や〔音声〕ボタンのある面を表に向けてください。間違った向きではふたが閉まりません。無理に入れようとすると、体温計を破損する原因になります。

- 検温前あるいは検温後、体温計をわきに挟まずにそのままにしておくと、ブザーが鳴り、音声案内が流れます。

〈1分後〉「ケースに戻すと電源が切れます」
〈3分後〉「自動的に電源が切れます」

- 体温計本体でも電源を入/切できます。（収納ケースの紛失や破損をした場合）
 - 電源を入れるときは〔音声〕ボタンを押します。
 - 電源を切るときは〔音声〕ボタンを10秒以上押します。

